

## 第 46 回超心理学学会とサンフランシスコの研究機関訪問

報告者 小久保秀之

出張期間 2003 年 7 月 30 日から 8 月 11 日。

参加学会、視察研究交流機関

第 46 回超心理学学会大会 (カナダ・バンクーバー) 46th Annual Convention of the Parapsychological Association, Inc. <a href="http://www.parapsych.org/">http://www.parapsych.org/</a>
カリフォルニア太平洋医学センター (USA・サンフランシスコ) California Pacific Medical Center <a href="http://www.cpmc.org/">http://www.cpmc.org/</a>
先端科学研究所 (USA・オークランド) Institute for Frontier Science <a href="http://www.concentric.net/~Explore/">http://www.concentric.net/~Explore/</a>
気功研究所 (USA・メンロパーク) Qigong Institute <a href="http://www.qigonginstitute.org/">http://www.qigonginstitute.org/</a>
Foundation for Mind-Being Research (USA・ロスアルトス) <a href="http://www.fmbr.org/">http://www.fmbr.org/</a>

### 第 46 回超心理学学会大会 (カナダ・バンクーバー)

2003 年 8 月 1 日 - 4 日、カナダ、バンクーバー市のメトロポリタンホテルにて、第 46 回超心理学学会大会 (Parapsychological Association: PA) が開催された。催眠・瞑想・気功やヒーリング、あるいは転生など、研究対象として興味深い潜在能力現象は多々あるが、PA はサイ能力を対象とする専門学会である。会員構成は欧州と北米の会員が多く、また、ほぼ同数であるため、大会は欧州と北米で交互に開かれる。2002 年はパリで開催された。来年 2004 年はウィーンでの開催が予定されている。PA は、ライン (Rhine, J.B.) 以降の行動主義的サイ研究の潮流を代表する組織である。今大会では、招待講演、討論会、記念講演のほか、26 件の研究発表があった (プログラム参照)。

研究発表は、ガンツフェルト実験 3 件、ESP 実験 4 件、対人・対細胞遠隔実験 6 件、予知関連実験 3 件、理論的・哲学的研究・観測理論 4 件、その他 6 件であった。

ガンツフェルト実験は、詳細な実験条件を検討したもの (Silva 他) や、実験者と被験者との会話分析 (Wooffitt) があった。Wooffitt は、エジンバラ大学の実験データを用い、「ええっと」や沈黙などの記録に残らない会話を詳細に分析した。被験者に発言を思い出させるために実験が言う「you said」という言葉が、被験者を混乱させるなどの特別な役割をしていると述べた。

ESP 実験は、直観に焦点を当てた研究が目立った。Hallman は、2040 人の児童・生徒を被験者として学校で直観の実験を行い、女子の方が男子よりも直観に優れていると報告した。

予知関連実験では、Radin が皮膚電気伝導度を用いた予知実験の結果が再現したことを報告した。また、May は、音刺激を用いた同様の実験で効果が検出されたもの、それは DAT で解釈されるべき現象だと述べた。

対人・対細胞遠隔実験は、瞑想中の瞑想者に対する第 3 者の意識干渉の研究 (Edge ら)、ビデオ刺激による誘発脳波 (送信者) と受信者脳波の相関を調べた研究 (Radin) などがあった。Radin の実験では、受信者

の脳波変化は送信者から約 100ms の位相遅れがあった。手かざしヒーリングによって脳神経細胞( astrocytes ) のコロニー形成数を調べた研究 ( Radin ら ) では、処置 3 日目に実験群と統制群とで有意な差が見られたこと、また、同時にフィールド RNG の出力異常が見られたことが報告された。特に RNG 出力の異常は、世界意識計画 ( Global Consciousness Project ) のデータとの比較から、距離の 2 乗で減衰していたと報告された。この結果は、サイの物理的性質を表す非常に重要な結果であるが、同時に、さまざまな問題を引き起こす。今後、距離効果に対する議論が盛んになると予想される。

#### カリフォルニア太平洋医学センター ( USA ・ サンフランシスコ )

ここでは、Radin の共同実験者である Garret Yount 博士に会った。彼は現在、NIH から 2 本、民間から 1 本の研究予算を得て、脳腫瘍に対するヒーリングの効果の研究を行っている。Radin や Yount が対象とするヒーリングは、岡田茂吉の流派による Johrei ( 浄霊 ) である。まだ研究は端緒についたばかりであり、今後、さらに詳細な研究が行われると思われる。

#### 先端科学研究所 ( USA ・ オークランド )

ここは NPO 型の研究所で、所長は Beverly Rubik 博士。スタッフは 4 名。ここも NIH から研究予算を獲得している他、老人介護の NPO から資金援助を受けている。ここでは大腸菌に対する手かざしヒーリング( レイキ ) の効果を研究している。

#### 気功研究所 ( USA ・ メンロパーク )

Kenneth M Sancier 博士の自宅。彼は Computerized Qigong Database を CD-ROM で作成・発行している。CD-ROM は、各国の図書館や研究室で広く利用されている。庭には、ゆず、しそ、みょうがが植えられているほか、障子を自作してしまうなど、かなりの親日家である。

#### Foundation for Mind-Being Research ( USA ・ ロスアルトス )

代表者は、Gough 博士。講演会や研究会の開催を中心とするグループ。一部の論文をインターネットで閲覧可能。

#### まとめ

- 1 . 霊術系の手かざしヒーリング ( 浄霊、レイキ ) の研究が、広く行われている。
  - \* 今日、日本では、霊術の霊気が米国で簡略化されてカタカナの「レイキ」となって逆輸入されている。なお、気功における外気療法も、日本の霊術系手かざしヒーリングの技法が中国に渡り、中国風に装いを変えて日本に逆輸入されたもの。
- 2 . 超心理学者も、脳波・心拍・皮膚電気活動などの生理測定を行うようになった。
  - \* ただし、実験技術や設備をもっている研究者が限られている。
- 3 . 予知実験は、既に効果のわかっている一般的な心理生理実験を、時間対称に設計するタイプの実験デザインが有望と考えられ、この方向での研究がしばらく続くと思われる。
- 4 . 従来の透視実験から直観の研究に焦点が移っている。